



## 2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月9日

上場会社名 株式会社帝国電機製作所 上場取引所 東  
 コード番号 6333 URL <http://www.teikokudenki.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 頃安 義弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員総務本部長 (氏名) 村田 潔 TEL 0791-75-4160  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	15,925	10.1	1,812	7.0	2,111	16.2	1,404	△23.1
2021年3月期第3四半期	14,460	△18.7	1,693	△40.6	1,817	△37.4	1,825	△8.4

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 1,996百万円 (8.3%) 2021年3月期第3四半期 1,843百万円 (2.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	72.76	-
2021年3月期第3四半期	92.71	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	37,306	29,465	78.4
2021年3月期	35,631	28,834	80.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 29,249百万円 2021年3月期 28,668百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	-	18.00	-	18.00	36.00
2022年3月期	-	18.00	-		
2022年3月期 (予想)				32.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,930	10.1	2,380	5.2	2,730	8.6	1,890	△18.7	98.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	20,440,038株	2021年3月期	20,423,438株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	1,338,376株	2021年3月期	784,654株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	19,299,583株	2021年3月期3Q	19,686,593株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(会計方針の変更) .....	6
(追加情報) .....	6
(セグメント情報等) .....	7
3. 補足情報 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、各国のワクチン接種の進展等により経済活動が正常化に向かう中、景気の回復を維持しておりますが、足許はサプライチェーンの逼迫や新型コロナウイルスの新たな変異株の急速な感染拡大等の影響を受け、回復ペースがスローダウンしており、先行きに不透明感があります。

当社グループの主力であるポンプ事業を取り巻く環境は、主要顧客である化学業界において、海外を中心に設備投資が再開したことに加え、脱炭素分野への投資需要増加もあり、持ち直し傾向にありますが、原材料価格の高騰やサプライチェーンの逼迫等による影響が懸念されます。また、電子部品事業においても、サプライチェーンの逼迫等による自動車の減産の影響を受けております。

このような状況を受け、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、15,925百万円（前年同期比10.1%増）となりました。利益面につきましては、主にポンプ事業の中国市場における売上の増加により、営業利益は1,812百万円（同7.0%増）、為替差益63百万円の発生等により、経常利益は2,111百万円（同16.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,404百万円（同23.1%減）となりました。なお、前年同期においては、中国の修理子会社の清算を行ったことに伴い、販売費及び一般管理費において388百万円、法人税等において466百万円の未払税金の取崩しを計上しております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### （ポンプ事業）

ポンプ事業は、主に中国市場においてケミカル機器モータポンプ等の売上が増加したことから、堅調に推移しました。

その結果、売上高は14,522百万円（前年同期比11.5%増）、連結売上高に占める割合は91.2%となりました。また、営業利益は、主に中国市場の売上増加により、1,784百万円（同2.8%増）となりました。

#### （電子部品事業）

電子部品事業は、売上高は1,103百万円（前年同期比0.6%減）、連結売上高に占める割合は6.9%となりました。

また、営業利益は、自動車の減産や部品不足による生産停滞の影響を受けたことから、7百万円の営業損失（前年同期は101百万円の営業損失）となりました。

#### （その他）

その他は、売上高は299百万円（前年同期比8.7%減）、連結売上高に占める割合は1.9%となりました。

また、営業利益は、売上の減少及び粗利率の悪化により、35百万円（同39.6%減）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### （資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は26,515百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,631百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が1,254百万円増加したことによるものであります。固定資産は10,790百万円となり、前連結会計年度末に比べ43百万円増加いたしました。

この結果、総資産は、37,306百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,674百万円増加いたしました。

#### （負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は6,642百万円となり、前連結会計年度末に比べ926百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が745百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,198百万円となり、前連結会計年度末に比べ118百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は、7,841百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,044百万円増加いたしました。

#### （純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は29,465百万円となり、前連結会計年度末に比べ630百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が743百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は78.4%（前連結会計年度末は80.5%）となりました。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年5月10日に公表いたしました通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2022年2月9日）公表いたしました「通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,576,074	13,830,128
受取手形及び売掛金	7,386,696	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	7,585,319
製品	1,382,086	1,627,123
仕掛品	1,377,566	1,868,921
原材料及び貯蔵品	1,547,272	1,632,257
その他	1,075,172	524,572
貸倒引当金	△459,877	△552,326
流動資産合計	24,884,992	26,515,996
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,469,219	4,628,087
その他（純額）	3,898,627	3,938,391
有形固定資産合計	8,367,847	8,566,479
無形固定資産		
のれん	160,129	41,092
その他	219,508	181,245
無形固定資産合計	379,638	222,338
投資その他の資産	1,999,379	2,001,767
固定資産合計	10,746,864	10,790,585
資産合計	35,631,857	37,306,581
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,869,230	2,614,925
短期借入金	320,000	380,000
未払法人税等	298,244	309,224
製品保証引当金	28,926	31,097
賞与引当金	502,781	252,132
その他	2,697,588	3,055,475
流動負債合計	5,716,771	6,642,855
固定負債		
長期借入金	73,990	75,950
退職給付に係る負債	499,064	516,203
その他	507,113	606,093
固定負債合計	1,080,167	1,198,246
負債合計	6,796,939	7,841,102
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,132,976	3,143,675
資本剰余金	3,321,205	3,331,904
利益剰余金	22,555,470	23,298,985
自己株式	△1,000,919	△1,727,866
株主資本合計	28,008,733	28,046,698
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	481,826	440,331
為替換算調整勘定	194,283	771,810
退職給付に係る調整累計額	△16,288	△9,840
その他の包括利益累計額合計	659,821	1,202,301
非支配株主持分	166,362	216,478
純資産合計	28,834,917	29,465,479
負債純資産合計	35,631,857	37,306,581

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	14,460,649	15,925,482
売上原価	9,073,811	9,483,442
売上総利益	5,386,837	6,442,039
販売費及び一般管理費	3,692,851	4,629,649
営業利益	1,693,985	1,812,389
営業外収益		
受取利息	18,343	43,664
受取配当金	29,625	30,143
受取賃貸料	25,631	24,850
為替差益	—	63,992
雇用調整助成金	66,067	36,393
太陽光売電収入	9,904	9,458
その他	58,769	115,696
営業外収益合計	208,341	324,200
営業外費用		
支払利息	14,006	12,233
為替差損	51,960	—
太陽光売電原価	6,394	5,635
その他	12,461	7,638
営業外費用合計	84,822	25,507
経常利益	1,817,505	2,111,082
特別損失		
固定資産売却損	—	13,399
投資有価証券売却損	19,550	—
特別損失合計	19,550	13,399
税金等調整前四半期純利益	1,797,954	2,097,683
法人税等	△28,481	649,198
四半期純利益	1,826,435	1,448,485
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,375	44,235
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,825,060	1,404,250

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	1,826,435	1,448,485
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	133,488	△41,494
為替換算調整勘定	△126,742	583,407
退職給付に係る調整額	10,667	6,447
その他の包括利益合計	17,413	548,360
四半期包括利益	1,843,849	1,996,846
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,845,318	1,946,729
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,468	50,116

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年3月8日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において自己株式553,700株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、単元未満株式の買取りによる取得も含め自己株式が726,946千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,727,866千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、ポンプ事業については、従来、主に出荷又は検収時に収益を認識しておりましたが、一定の期間にわたり充足される履行義務については、履行義務の充足に係る進捗度を見積り、当該進捗度に基づき収益を一定の期間にわたり認識する方法に変更しております。また、電子部品事業については、従来、売上原価としていた一部の費用について、顧客に支払われる対価として、売上高から減額する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は235,934千円減少し、売上原価は192,112千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ43,822千円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は37,663千円増加しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2020年3月31日）第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(当社の不適切な性能試験について)

当社が販売したキャンドモータポンプの一部の機種について、不適切な性能試験のもとで製品の出荷が行われていたことが判明し、対応を進めてまいりました。当第3四半期連結会計期間において対象となるお客様への説明が完了いたしましたので、本件に係る費用を合理的に見積り四半期連結財務諸表に反映しております。

なお、本件費用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。



(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2020年4月1日至2020年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ポンプ事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,022,576	1,109,939	14,132,515	328,133	14,460,649
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	13,022,576	1,109,939	14,132,515	328,133	14,460,649
セグメント利益又は損失(△)	1,736,552	△101,118	1,635,434	58,551	1,693,985

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特殊機器を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,635,434
「その他」の区分の利益	58,551
四半期連結損益計算書の営業利益	1,693,985

## II 当第3四半期連結累計期間（自2021年4月1日至2021年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計
	ポンプ事業	電子部品事業	計		
売上高					
日本	4,854,347	1,103,465	5,957,813	299,673	6,257,486
欧米	3,472,513	—	3,472,513	—	3,472,513
アジア	6,195,482	—	6,195,482	—	6,195,482
顧客との契約から生じる収益	14,522,343	1,103,465	15,625,809	299,673	15,925,482
外部顧客への売上高	14,522,343	1,103,465	15,625,809	299,673	15,925,482
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,522,343	1,103,465	15,625,809	299,673	15,925,482
セグメント利益又は損失(△)	1,784,807	△7,788	1,777,019	35,370	1,812,389

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特殊機器を含んでおります。  
2. 売上高は当社及び連結子会社の所在する国又は地域に分類しております。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,777,019
「その他」の区分の利益	35,370
四半期連結損益計算書の営業利益	1,812,389

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「ポンプ事業」の売上高は126,412千円減少、セグメント利益は43,822千円減少しております。また、「電子部品事業」の売上高は109,522千円減少しておりますが、セグメント利益に影響はありません。

## 3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	前年同期比 (%)
ポンプ事業 (千円)	15,179,149	16.3
電子部品事業 (千円)	1,103,448	△0.6
報告セグメント計 (千円)	16,282,597	15.0
その他 (千円)	202,565	△16.8
合計 (千円)	16,485,162	14.5

(注) 1. 金額は、販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ② 受注状況

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
ポンプ事業	17,455,638	33.7	10,635,270	27.6
電子部品事業	1,092,919	△2.8	153,990	22.2
報告セグメント計	18,548,557	30.8	10,789,260	27.5
その他	242,277	△34.2	86,666	△32.6
合計	18,790,835	29.1	10,875,927	26.6

(注) 1. 金額は、販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	前年同期比 (%)
ポンプ事業 (千円)	14,522,343	11.5
電子部品事業 (千円)	1,103,465	△0.6
報告セグメント計 (千円)	15,625,809	10.6
その他 (千円)	299,673	△8.7
合計 (千円)	15,925,482	10.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。